

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認 平成 年 月
レジメン名	IRIS		
疾患名	大腸がん	適応の備考	
適応分類			
1コース日数	35 日間	総コース数	コース催吐性リスク中等度
抗がん剤投与量・投与日 イリノテカン80mg/m ² day1,15、S-1 80mg~120mg/body 分2朝夕食後経口投与 day1-day21まで服用			

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)
(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	~35	
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●														●															
	点滴静注	フロイメント注150mg	1 本 / body		●														●															
抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴																																		
2	主ルート	アロキソ注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●														●															
	点滴静注	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	3 本 / body		●														●															
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●														●															
	点滴静注	イリノテカン	80 mg / m ²		●														●															
4	主ルート	生食注50ml	1 本 / body	5 分	●														●															
	点滴静注	速度:全開で																																
5	経口投与	S-1	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									
		分2 朝夕食後																																
		(体表面積) 1.25m未満 80mg/day 1.25~1.5m未満 100mg/day 1.5m以上 120mg/day																																
6																																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- ・フロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・フロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・フロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。